

ひみこちゃんが
「大和さくらい100選」
一度は行ってみたいスポットを紹介 - その30 -

神武東征の道（忍坂街道）

現在の忍坂は古事記・日本書紀では「忍坂」の名で登場し、神武天皇（神倭伊波礼毘古命）が熊野を經由して大和に入り、八十建（大勢のつわもの）を討伐した地とされています。

この地では、土蜘蛛の八十建が待ち構えていましたが、神武天皇は「忍坂大室屋」で、彼らにご馳走を与え、それぞれに刀を隠し持たせた調理人をつけ、合図とともに一斉に打ち征伐しました。

その後も、荒ぶる神たち等を服従させ、畝火の白檮原宮で天下をお治めになりました。



今回は、「大和さくらい100選」の「記紀万葉ゆかりの地」に選ばれている忍坂街道・七乙女伝説、「ビューポイント」の等彌神社を紹介するよ！



神籠石（神武天皇が八十建を討つ際、楯とした伝説の巨石）

等彌神社

等彌神社の裏側にある鳥見山は、神武天皇が天照大神をお祀りした場所（まつりのにわ）の鳥見山中霊時とされています。

四季それぞれの景色が素晴らしく、秋の紅葉の時期には、献灯祭や紅葉ライトアップが開催されます。（今年は、11/20㊥～26㊦）



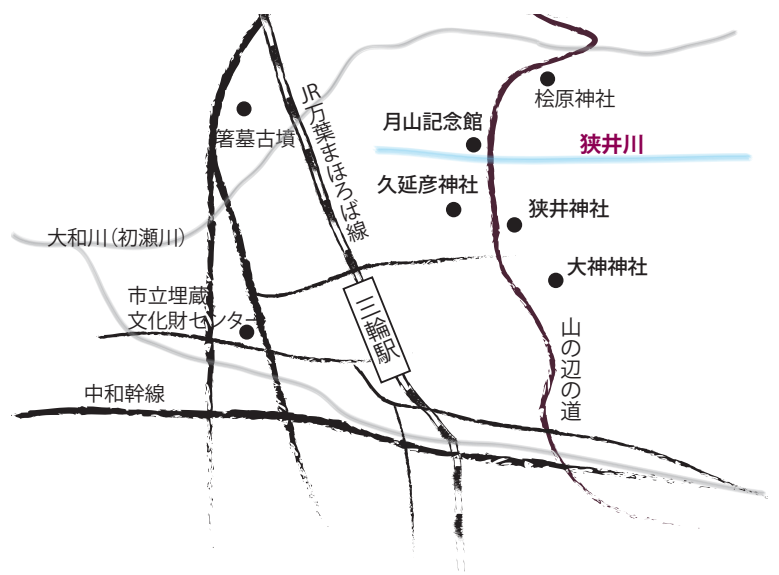
等彌神社のライトアップ

狭井川の出会い（七乙女の伝説）

ある時、七人の少女が高佐士野で野遊びをしていました。神武天皇に仕える大久米命は、七人の先頭にいた比売多多良伊須気余理比売を見て、天皇に歌で誰を妻にするか尋ねました。天皇は一番前にいる少女を妻にしたいと歌で返答します。比売多多良伊須気余理比売は「お伝えしましょう」と天皇の申込みに答え、二人は狭井川のほとりにある彼女の家で、一夜を過ごしたそうです。



狭井川



「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課 (☎ 42 - 9111 内線 342)

twitter @himiko_chan